

kuji

第4章

環境施策の実施状況

- 1 大気汚染の防止
- 2 水質保全・排水処理対策の推進
- 3 土壌・地下水汚染の防止
- 4 騒音・振動、悪臭の防止
- 5 生物多様性の確保
- 6 森林の保全
- 7 農地の保全
- 8 身近な自然のふれあいの促進
- 9 ごみの減量化と資源の循環的利用の促進
- 10 廃棄物の適正処理
- 11 地球環境の保全
- 12 環境保全活動を担う人材の育成

1 大気汚染の防止

〔環境指標〕

項目	目標	現状
一般環境大気中の二酸化硫黄 [※] （SO ₂ ）濃度	2%除外値 0.04ppm（環境基準 [※] ） 以下に維持	平成30年度測定結果 2%除外値 0.002ppm [※]
一般環境大気中の二酸化窒素 [※] （NO ₂ ）濃度	98%値 0.04ppm（環境基準） 以下に維持	平成30年度測定結果 98%値 0.013ppm
一般環境大気中の浮遊粒子状物質 [※] （SPM）濃度	2%除外値 0.10mg/m ³ （環境基準） 以下に維持	平成30年度測定結果 2%除外値 0.036mg/m ³
一般環境大気中の微小粒子状物質（PM2.5）濃度	98%値 35μg/m ³ （環境基準） 以下に維持	平成30年度測定結果 98%値 31.9μg/m ³
一般環境大気中のダイオキシン類の濃度	年平均値 0.6 pg-TEQ [※] /m ³ （環境基準） 以下に維持	平成30年度 測定なし

公共交通機関の利用を促進し、市民のマイカー利用の抑制に努めます。

○市民バス（8路線※デマンドタクシーを含む）、通学支援バス（1路線）を運行した。【地域づくり振興課】

輸送人員：64,732人

○路線バス、三陸鉄道、JR八戸線の利用促進事業を実施した。【地域づくり振興課】

参加者数：1,433人

大気汚染のモニタリングを実施します。

○県が久慈市八日町で行っている大気汚染常時監視（二酸化硫黄、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、光化学オキシダントPM2.5）結果の情報収集に努めた。【生活環境課】

2 水質保全・排水処理対策の推進

〔環境指標〕

指標項目	目標	現状
河川・海域のダイオキシン類濃度	環境基準以下を維持	平成30年度測定結果 基準超過なし
久慈川、長内川、夏井川、宇部川の生物化学的酸素要求量（BOD）	環境基準以下を維持	平成30年度測定結果 基準超過なし
久慈湾の化学的酸素要求量（COD）	環境基準以下を維持	平成30年度測定結果 基準超過なし
公共下水道の普及率	40.9%以上	平成30年度末 39.3%
浄化槽の普及率	15.6%以上	平成30年度末 12.1%
漁業集落排水の普及率	11.1%以上	平成30年度末 8.9%

河川・海等の水質のモニタリングを行います。

○公共用水域の水質測定を実施した。【生活環境課】

- ・公共用水域（7箇所・4回—6, 8, 11, 2月）
- ・都市排水路（5箇所・4回—6, 8, 11, 2月）
- ・小河川等（10箇所・4回—6, 8, 11, 2月）

公共下水道などの整備を推進し、河川の水質保全を行います。

○公共下水道の整備を実施した。【下水道課】

○合併浄化槽の普及促進のため設置補助金を実施した。【下水道課】

～小学校・中学校の取組状況～

○かづま浜の清掃を行った。【小袖小学校】

3 土壌・地下水汚染の防止

〔環境指標〕

指標項目	目標	現状
土壌中のダイオキシン類濃度	環境基準以下に維持	平成 29 年度測定結果 環境基準以下
地下水中のダイオキシン類濃度	環境基準以下に維持	平成 30 年度測定結果 環境基準以下
地下水の水質汚濁に係る環境基準項目	環境基準の達成	平成 30 年度測定結果 継続調査の井戸 2 地点で環 境基準又は指針値を超過

土壌や地下水の中の有害化学物質についてモニタリングを実施します。

○県が毎年実施している地下水質調査の結果の把握に努めた。【生活環境課】

○県が毎年実施しているダイオキシン類モニタリング（河川、海域、地下水及び土壌）の情報収集に努めた。【生活環境課】

○2,4,5-T 系除草剤埋設地の定期点検立会（年 2 回、山形町）や東北森林管理局への恒久対策の要望活動を実施した。【生活環境課】

4 騒音・振動、悪臭の防止

〔環境指標〕

指標項目	目標	現状
自動車騒音常時監視における達成率	100%	平成 30 年度 100%
公害苦情の総受付件数	年間 10 件未満	平成 30 年度 4 件

騒音、振動、悪臭のモニタリングを実施します。

○悪臭の発生状況を把握するため、におい・かおりモニターによる調査を実施した。【生活環境課】

○自動車騒音の調査を実施した。【生活環境課】

渋滞の緩和や交通量の分散に配慮した道路の整備を推進します。

○市街地の円滑な交通機能を整備するため、街路整備事業を実施した。【都市計画課】

5 生物多様性の確保

〔環境指標〕

指 標 項 目	目 標	現 状
植林活動の実施や支援	実施	平成 30 年度 実施
自然公園等における環境整備活動の実施	実施	平成 30 年度 10 件 実施
自然観察会や保護活動の実施	実施	平成 30 年度 実施

自然観察会を実施し、生物多様性や生息環境の保全意識を高めます。

○かしわぎ地区親水公園において清掃活動及び水生生物調査を行った。【農政課】

○内間木洞（岩手県指定天然記念物）氷筍観察会を開催した。【山形市民センター】

実 施 日：平成 31 年 2 月 10 日

参 加 者：332 名

成 果：例年より小さめであったが、150 cm 程度の大きさのものもあり、300 本以上の氷筍を観察することができた。

チョウセンアカシジミ、ゴマシジミ、ハナカジカなどの希少生物を保護し、その活動の支援に努めます。

○ハナカジカの調査観察会を山形小学校との共催事業として実施した。【山形市民センター】

○ゴマシジミの調査観察会を宇部小学校との共催事業として実施した。【宇部市民センター】

○ゴマシジミ生息地の草刈りを実施した。【農政課】

○チョウセンアカシジミ観察会を実施した。【農政課】

～小学校・中学校の取組状況～

○久慈小通学橋付近にて久慈川の水質調査を実施した。【大川目小学校】

実 施 日：平成 30 年 7 月 23 日

参 加 者：児童 16 名、教職員 2 名

成 果：比較的きれいな水に棲む水生生物が見つかり、今のところ大川目町を流れる久慈川はいい状態だということが分かった。

○久慈川漁業協同組合の協力の下、久慈川河川敷にて鮭の稚魚を放流した。【大川目小学校】

実 施 日：平成 30 年 4 月 25 日

参 加 者：児童 31 名、教職員 4 名

○ハナカジカの生息調査【山形小学校】

実 施 日：平成 30 年 4 月 26 日、9 月 11 日

参 加 者：児童 29 名、教職員 4 名、保護者 1 名、山形教育室 2 名

成 果：希少種であるハナカジカの個体を確認できた。小平沢川の水質調査や水生生物調査、周辺のごみ拾い、カジカの住みやすい環境整備にも合わせて取り組むことができた。

○久慈川の水生生物調査を実施した。【久慈小学校】

実 施 日：平成 30 年 9 月 7 日

参 加 者：児童 102 名

成 果：河川の水質、水生生物の生息状況、環境にやさしい生活の意義等学習できた。

○宇部川の水生生物調査を行った【宇部小学校】

実 施 日：平成 30 年 10 月 19 日

参 加 者：児童 10 名

成 果：学区を流れる宇部川の水生生物調査の体験を通して、身近に流れる宇部川の水はきれいであることを確認することができた。また、このようなきれいな川を維持することの大切さや必要なことを考えることができた。



ハナカジカの生息調査
(山形小学校)

6 森林の保全

〔環境指標〕

指標項目	目標	現状
森林（私有林）の面積	私有林面積 39,000ha 以上	平成 30 年度末現在 私有林面積 38,731ha
人工林の面積	人工林面積 14,000ha 以上	平成 30 年度末現在 人工林面積 13,719ha
天然林の面積	天然林面積 25,000ha 以上	平成 30 年度末現在 天然林面積 25,012ha

自然観察会や林業体験イベント等を通じて、林業や森林がもつ多面的機能に対する理解を深める取り組みを推進します。

- 地元宇部町にある小倉山登山の実施を通し、ふるさとの自然に親しみ、町民の連携、健康意識の高揚を図った。【宇部市民センター】
実施日：平成 30 年 4 月 30 日
参加者：児童 26 名、大人 51 名
場所：宇部町
成果：小倉山登山の実施は、平成 30 年度で 17 年目（回）を数える。登山後には、子供たちによる餅つき、参加者全員へのお振舞をし、ふるさとの自然の恵みと有難さを再認識した。

間伐材や未利用資源などの有効な活用方法を検討します。

- 森の中に、車いすの方でも自然散策のできるよう、間伐材を用い思い思いのメッセージを書き入れた木の板で木道を作るフォレストボード体験を行った。【観光交流課】
成果：約 140 枚（延長約 28m）
- 未利用資源の活用を目的に、市の温泉施設にチップボイラーを設置した。【林業水産課】

林業の安定経営・後継者の育成を支援します。

- 地域の林業事業者で組織する久慈地方「木の仕事」協議会が実施する林業体験座談会等の支援を行った。【林業水産課】

～小学校・中学校の取組状況～

- 山形総合支所産業建設課主催の事業に参加し、平庭高原に白樺の苗を植樹した。【来内小学校】
実施日：平成 30 年 8 月 11 日
参加者：児童 6 名、保護者 4 名、職員 6 名
成果：植樹を行い、白樺の森林を守り育てていくことの大切さについて考えることができた。
- 森の学習会を実施した。【夏井小学校】
実施日：平成 30 年 10 月 3 日
参加者：1～4 年生児童 12 名、職員 3 名、森林インストラクター 2 名
場所：夏井小学校裏山「夏小の森」

成 果：森林の働きについて理解を深めた。また、「夏小の森」で採取した材料を使い木工工
作や遊び体験をし、森林の素晴らしさを実感した。



フォレストボード体験



来内小学校 白樺の植樹

7 農地の保全

〔環境指標〕

指標項目	目標	現状
効率的かつ安定的な農業経営体が地域の農用地の利用に占める面積の割合	50%以上	平成30年度末現在 25.2%

農業の経営安定及び後継者育成に対し支援します。

○農業経営基盤強化資金利子補給（認定農業者が農業経営改善計画に基づいて融資を受けた融資額に対する利子補給）を実施した。【農政課】

平成30年度利子補給額：1,304千円

利子補給期間：令和9年度まで

利用者：9人

○新規就農者の初期経営支援による円滑就農実現化を促進（施設・機械整備に係る活用制度資金の元利償還金の返済等に助成）するため、新規就農者育成確保対策事業を実施した。【農政課】

平成30年度補助金額：54千円

事業期間：終期設定なし

利用者：1人

○農村青年クラブの研修会等自主活動への助成による青年農業者の育成・確保を図るため、久慈市農村青年クラブ活動育成事業費補助金を交付した。【農政課】

活動内容：久慈地方産業まつり参加、県連事業参加

平成30年度補助金額：34千円

会員数：17人

○中核農家クラブの研修会等自主活動への助成による中核となる農業者の育成・確保を図るため、中核農家活動育成事業費補助金を交付した。【農政課】

活動内容：総会・情報交換会、各種視察研修、クラブ広報誌発行

平成30年度補助金額：38千円

会員数：40人

地区組織の設立などを検討し、農地管理放棄などの防止を図ります。

○中山間地域等の保全・振興施策として、一定の要件に該当する農業者（集落・組合）に対する農業生産条件不利補正のため、中山間地域等直接支払交付金を交付した。【農政課】

平成30年度交付金額：7,025千円

協定数：7協定（4集落・3組合）

有機肥料・低農薬栽培による農業を推進します（堆肥センターを活用し、循環型農業の形成を図ります）。

○久慈市堆肥センターを活用し、循環型農業の形成を図った。【農政課】

牛糞処理量：6,900 t

鶏糞処理量：2,590 t

販売実績：2,074 t

地場農産物の生産・品質の向上を支援します。

- 地元産の農林水産物を食材利用した学校給食を市内全小中学校に一斉提供し、地産地消及び食育を推進するため、地産地消ふれあい給食事業を実施した。【農政課】
実施品目：鮭、ほうれんそう、しいたけ、短角牛
平成 30 年度事業費：1,062 千円

直接販売や契約栽培など、生産者と消費者を結ぶ流通の確立を支援します。

- 都市と農村の交流、地場農林水産物の直売を通じた地産地消を推進した。【農政課】
平成 30 年度事業費：472 千円
平成 30 年度対象者等：体験学習 12 校（小学校 11 校、中学校 1 校）、市民農園 15 区画（15 人）

農業体験イベントの開催や市民農園の利用など、農業が持つ多面的機能に対する理解を深める取り組みを推進します

- 小久慈地区環境資源保全推進協議会と小久慈小学校で稲作体験学習を実施した。【農政課】
実施日：平成 30 年 5 月～10 月
参加者：5 年児童 37 名、教職員・地域住民 25 名
- 宇部第一環境保全会と宇部小学校で稲作体験学習を実施した。【農政課】
実施日：平成 30 年 5 月～10 月

～小学校・中学校の取組状況～

- 野菜を栽培した。【大川目小学校】
実施期間：平成 30 年 4 月～11 月
参加者：全校児童 90 名、職員 9 名
成果：学級園で学級ごとに野菜を栽培した。野菜作りを通じて畑作業の大変さや野菜を育てる難しさ、収穫の喜びも体験させることができた。また、食物を大切に食する気持ちを持たせることもできた。
- 学校農園において地域の農園協力隊の皆さんの指導を受けながらジャガイモやサツマイモの栽培をした。【小袖小学校】
実施期間：平成 30 年 4 月～10 月
参加者：児童 27 名、地区民（農園協力隊）7 名、職員 10 名
成果：ジャガイモやサツマイモの栽培収穫を通して収穫は自然環境に左右されることを学び、草取りなど自然環境の保全に努めた。
- 学校農園の実施【小久慈小学校】
実施日：平成 30 年 5 月
参加者：児童 207 名
場所：学校内農園
- 稲作活動の実施【小久慈小学校】
実施日：平成 30 年 5 月～10 月
参加者：5 年児童 37 名

- 場 所：学校で借用している田
成 果：農作物や稲の栽培・収穫を通して、農業について知識を深めた。
- 地域ボランティアの方々とともに、プランターに花苗を植栽した。【侍浜小学校】
- 学校の畑で、農作物の栽培や収穫を行った。【侍浜小学校】
- 農業体験学習として、米や野菜の栽培体験をした。【山形小学校】
- 実 施 日：平成 30 年 5 月～11 月
参 加 者：児童 62 名、教職員・保護者 20 名
場 所：借用している水田や畑
成 果：農業体験を通して栽培や収穫の喜びを味わい、農業の苦労や喜びについて考えることができた。
- 全校児童によるそば播き、そば刈り・しま立て、そば脱穀、そば打ちを行い、そば会食会を実施した。【夏井小学校】
- 実 施 日：平成 30 年 7 月～11 月
参 加 者：児童 19 名、職員 9 名、夏井川堤の景観を創る会 8 名、保護者 5 名、地域の方 5 名
場 所：夏井小学校付近の畑及び体育館
成 果：夏井地区の特産物であるそばの栽培について、理解を深めることができた。
- 学校農園を利用し、農業体験学習を行った。（サツマイモやキュウリ等の栽培）【宇部小学校】
- 実施期間：平成 30 年 5 月～11 月
参 加 者：児童 68 名
成 果：農作物がどのように育っていくのか学ぶことができた。また、収穫の喜びを感じることもできた。
- 農産物（野菜・花など）の栽培と観察【山形中学校】
- 実 施 日：平成 30 年 5 月～11 月
参 加 者：全校生徒 54 名
場 所：山形中学校敷地内露地
成 果：技術の時間に露地で、ミニトマト、オクラ、トウモロコシ、スイカ、サツマイモの栽培を行った。栽培適期を調べて栽培計画を立て、たい肥入れや、植え付け、日常の水やりや草取りなどの世話、収穫などの活動を通して、野菜作りの大変さや喜びを体験するとともに、農業に対する興味、関心を深めることができた。花の栽培では、マリーゴールド、サルビアの栽培を行った。開花の時期の違い等、野菜栽培とは違った大変さを学びながら、学習を深めた。
- 学級菜園を活用した栽培活動を行った。【久喜小学校】
- 実 施 日：平成 30 年 5 月～11 月
参 加 者：児童 30 名、職員 9 名
場 所：久喜小学校学級菜園
成 果：農業体験や観察学習を通して植物の育成環境作りに関心をもつとともに、収穫の喜びを味わうことができた。



学校農園の実施 小袖小学校



農業体験学習 山形小学校

8 身近な自然とのふれあいの促進

〔環境指標〕

指標項目	目標	現状
市民一人あたり公園面積	2036年度 約20㎡/人	平成30年度末現在 4.3㎡/人
小河川を対象とした多自然型水路の整備	1河川を対象として実施	平成30年度 未実施
道路や公共施設を中心とした植樹の実施	実施	平成30年度 260本実施

河川整備に市民の参加を促し、市民と連携した管理体制の構築を図ります

○久慈川河川公園外緑地の維持管理を行った。【都市計画課】

道路や公共施設を中心に緑化を推進します

○市民、事業者等との共同により、都市公園等へ植樹を行った。【都市計画課】

公園などに設置する公共トイレの数や管理方法を見直し、衛生的な環境を創出します

○都市公園の維持管理を行った。(11カ所)【都市計画課】

公園や散歩道の利用マナーやペットマナーの向上を図ります

○ペットマナーについて広報で周知を図った。【生活環境課】

緑化活動の推進に努めます

○花壇の植栽を実施した。【夏井市民センター】

実施日：平成30年6月16日

参加者：46名（夏井町振興協議会、夏井町老人クラブ連合会、夏井町女性団体連絡会）

場所：夏井市民センター

成果：花壇づくりに併せて周辺草刈りや広場の草取りを実施し、環境美化に対する協力体制ができています。

○花壇の整備【子育て支援課】

参加者：子ども14名、保護者11名、川崎町婦人会8名、子育て支援課7名

場所：子育て支援センター前

成果：久慈市・親子サークル「パンダちゃん」・川崎町婦人会の三者でアドプト協定を締結。未整地の場所に花壇整備を行うことで、利用者同士が花とふれあい、世間交流の促進につながった。

○国道45号沿いの花壇及びプランターへの花の植栽を実施した。【侍浜市民センター】

実施日：平成30年6月9日

参加者：児童21名、保護者・地域住民・職員等40名

場所：国道45号沿いの花壇及び侍浜市民センター

成果：花苗の植栽を通じて小学生、保護者、地域住民が交流を深めることができた。また、参加者の環境に対する意識啓発が図られた。

○地域の環境を美化するため、地区の児童から高齢者まで参加し、花いっぱい運動を実施した。【宇部市民センター】

実施日：平成30年6月9日

参加者：児童15名、保護者15名、老人クラブ・町内会等14名、宇部地区教育振興協議会1名、教職員2名

場所：宇部市民センター及び国道45号沿い

成果：花を植えることを通じて地域の環境が美化され、自然とふれあえ、また、世代間交流が図られた。

自然とふれあえる公園や散歩道、親水の場の整備を行います。

○平時の住民の憩いの場として総合防災公園（総合公園）整備事業を行った。【都市計画課】

三陸ジオパークやみちのく潮風トレイルといった様々な観光資源の周知と活用に努めます

○第1回北三陸ジオ拠点ツアー【観光交流課】

実施日：平成30年10月20日

参加者：地域住民

場所：久慈市～洋野町～階上町～八戸市

成果：私たちが住む三陸地域の資源の理解を深めるとともに、再認識を図り、愛着を醸成した。

○第2回北三陸ジオ拠点ツアー【観光交流課】

実施日：平成31年2月13日

参加者：地域住民

場所：久慈市～田野畑村

成果：三陸鉄道「こたつ列車」での震災学習に加え、久慈～田野畑のジオサイトを巡り、ジオパークを広く周知し、理解する機会を創出した。

～小学校・中学校の取組状況～

○学校と地域を花いっぱいにして、地域に笑顔と元気を届けようというねらいをもとに全校で植栽活動を行った。【小袖小学校】

実施日：平成30年5月11日、6月21日、11月6日

参加者：児童27名、指導者

成果：花を植える活動を通して花を大切に扱うことや世話をすることを学び、花を育てることとは元気で笑顔になることを感じる活動であった。

○植栽活動の実施【小久慈小学校】

実施日：平成30年5月13日、10月14日

参加者：児童及びPTA123名、児童及びPTA100名

場所：小久慈小学校内

成果：親子で花植えを体験することで自然とふれあう良い機会となった。

○宇部地区宇部川河畔にて稚魚の放流体験を実施した。【宇部小学校】

実施日：平成30年6月25日

参加者：児童10名

成果：学区を流れる宇部川にヤマメなどの稚魚の放流体験を通して、身近に流れる宇部川の水はきれいであることを確認することができた。また、このようなきれいな川を維持することの大切さや必要なことを考えることができた。

○校地内の花壇に花苗を植えた【久慈中学校】

実施日：平成30年6月2日



観光交流課 北三陸ジオ拠点ツアー



宇部市民センター 花いっぱい運動

9 ごみの減量化と資源の循環的利用の促進

〔環境指標〕

指標項目	目標	現状
市民一人あたりのごみの排出量	年間 327kg 以下	平成 30 年度 年間一人あたりの排出量 372kg
エコショップいわて認定事業所数	エコショップいわて認定 事業所数 10 店舗以上	平成 30 年度末現在 8 店舗
ごみの資源化率	年間 14.1%以上	平成 29 年度 11.2%

ごみの減量化を事業者・市民に呼びかけます。

○事業者・市民等に対し、ごみの減量化を呼びかけた。【生活環境課】

平成 30 年度の一般廃棄物収集処理の実績（集団資源回収を除く）

ア ごみ処理実績

可燃ごみ： 11,161 トン
不燃ごみ： 686 トン
資源物： 1,260 トン
合計： 13,107 トン

イ し尿処理実績

し尿：25,221kl

○「衣料を捨てる前にリサイクルしよう」と呼びかけ、衣類のバザーとフリーマーケットを実施した。また、フリーマーケット会場では、エコ工作として段ボールやチラシを利用したペーパークイリングコーナーを開設した。【夏井市民センター】

実施日：「衣類のバザー」平成 31 年 3 月 1 日～3 月 28 日

「フリーマーケット」平成 31 年 3 月 17 日

参加者：バザー30名、フリーマーケット40名

場所：夏井市民センター

成果：60kgほどの衣類が焼却に回らずに再利用できた。（新しい持ち主へ25%ほどが渡り、残った42.8kgは、みずき園や衣類のバザーをおこなっているあまちゃんハウスなどへ提供した。売上金の一部3,633円を東日本大震災津波義援金へ寄付した。

生ごみの堆肥化や減量化などの取り組みに対する支援をします

○家庭用コンポスター購入補助事業を実施し、久慈市衛生班連合会が実施するコンポスターの共同購入事業に対し、1台につき2千円を補助した。【生活環境課】

平成 30 年度補助実績：26 台

公共施設への資源物回収 BOX の設置、及び小売店に対して資源物回収 BOX の設置を促すなど、ごみの資源化率の向上に努めます

○小型家電回収ボックス及び古着回収ボックスを設置した。【生活環境課】

○資源物集団回収支援事業を実施し、資源物の集団回収を行う地域団体に対し、補助金を交付した。

【生活環境課】

平成30年度補助実績：9団体

回収量：23,200kg

～小学校・中学校の取組状況～

○来内地区子ども会で古びんの回収活動を行った。【来内小学校】

実施日：平成30年5月12日、5月13日、11月10日、11月11日

参加者：児童10名、保護者、地域の方々

成果：古びんを回収し、リサイクルへの意識啓発が図られた。

○アルミ缶回収を実施した。【大川目小学校】

実施日：平成30年8月25日、平成31年3月6日

参加者：全世帯、職員

成果：アルミ缶の総量は110kgであった。

○通年、全校で給食の牛乳パックの回収を行っている。【大川目小学校】

○空き缶（アルミ缶・スチール缶）の回収を実施した。【平山小学校】

実施日：平成30年6月21日、7月7日

参加者：児童60名

成果：1回目は34名、2回目は35名が取り組むことができた。

○コピー、印刷機等の裏紙利用の推進、段ボールのリサイクル推進。【長内小学校】

実施日：通年

参加者：教職員22名

成果：校内で発生するミスプリント等の不用紙を裏紙として再利用した。また、校内で余剰となった不用段ボールをリサイクルすることで、可燃ごみの発生量を削減した。

○全校で牛乳パックの回収を行った。また、コピー機、印刷時の両面印刷や裏紙利用、プラごみとトナーのリサイクルを行った。【山形小学校】

実施日：通年

参加者：児童62名、教職員14名

場所：山形小学校

成果：紙類の使用量の削減につながった。

○資源物回収を行った。【夏井小学校】

実施日：平成30年8月25日

参加者：児童19名、保護者19名、教職員7名

場所：夏井小学校全学区

成果：アルミ缶110kg、スチール缶90kg、一升びん、ビールびん等を回収した。児童に対し、循環型社会形成のための3R（リユース、リデュース、リサイクル）への意識啓発が図られた。

○アルミ缶回収を行った。【霜畑小学校】

実施日：平成31年3月8日

○両面印刷、裏面再利用、トナーのリサイクルをしている。【宇部小学校】

○ごみの分別化を実施している。【宇部小学校】

○全校で牛乳パックのリサイクルを行っている。【宇部小学校】

○書き損じはがきの回収を行い、福祉施設に寄付した。【宇部小学校】

参加者：児童 68 名

○リサイクル大作戦（アルミ缶、スチール缶、新聞紙の回収）【侍浜中学校】

実施日：平成 30 年 5 月 24 日をはじめ、第 4 木曜日の早朝年間 9 回

参加者：生徒 48 名、PTA 会員 53 名

場所：侍浜中学校区

成果：アルミ缶 280 kg、スチール缶 100 kg、新聞紙 520 kg の回収を行い、その収益金と市の補助金を部活動遠征費の一部にあてた。生徒に対して 3R（リユース、リデュース、リサイクル）への意識啓発が図られた。

○アルミ缶回収【宇部中学校】

実施日：平成 30 年 8 月 17 日

成果：全校生徒を 3 つの地区の班に分け、地区ごとに地区民からの協力を得てアルミ缶を回収した。

○リサイクル活動、アルミ缶回収【大川目中学校】

参加者：全校生徒



霜畑小学校 アルミ缶回収



大川目中学校 アルミ缶回収

10 廃棄物の適正処理

環境指標]

指標項目	目標	現状
不法投棄箇所確認件数	10力以下	平成30年度 49力所
清掃活動の実施	実施	平成30年度 実施

不法投棄の実態調査・監視の強化に努めます。

- 環境パトロール員10名を委嘱し、不法投棄の監視を行った（発見件数49件）。【生活環境課】
- 不法投棄、不適正処理原因者の特定に努めた。【生活環境課】

ごみ集積場の整備に対する支援を行います。

- ごみ集積場整備事業を実施し、町内会等が実施するごみ集積場の新築や改築に対し、経費の2の1を補助（限度額75千円）した。【生活環境課】
平成30年度補助実績：11件

広報やポスターなどにより市民・事業者に注意を促します。

- 不法投棄パトロール員により街頭啓発及び広報等による啓発を行った。【生活環境課】

市民一斉清掃、530（ごみゼロ）運動を実施します。

- 早朝1時間清掃（ごみ拾い、草刈り）実施に関し、市民に清掃活動を呼びかけた。【生活環境課】
参加者：25,335（年4回）
- 清掃運動事業（530運動）実施に関し、各事業所・官公署及び学校等に対し、通学路、公園その他公共用地、各事業所・施設周辺の清掃を呼びかけた。【生活環境課】
参加者：16校（2,209人）、7事業所（284名）
- お盆の供物収集に関し、市内の臨時集積場で特別収集を行った。【生活環境課】
- 青少年健全育成事業の一環として、夏井市民センター、夏井町振興協議会、地区小中学校の共催により、市の早朝1時間清掃に合わせて「春のクリーン作戦」を実施した。【夏井市民センター】
実施日：平成30年4月22日
参加者：児童生徒88名
場所：夏井町内全域
成果：親子や地域の方と参加することで環境に対する意識啓発が図られた。年々、参加率が上がっている。
- 北侍浜野営場周辺のごみ拾いを実施した。【侍浜市民センター】
実施日：平成30年7月13日
参加者：児童21名、保護者・職員等8名
場所：北侍浜野営場周辺
成果：ごみ袋数袋程度を回収し、北侍浜野営場周辺のごみを減らすことができた。また、参加者の環境に対する意識啓発が図られた。

～小学校・中学校の取組状況～

○グリーンデーを実施し、学区内の通学路のごみ拾いを全校児童で実施した。【来内小学校】

実施日：平成30年4月26日、5月25日、6月28日、7月19日、8月23日、10月25日

参加者：児童10名

場所：通学路、学校周辺

成果：燃えるごみ、燃えないごみを回収し、学校周辺のごみがなくなった。また、児童の環境に対する意識啓発も図られた。

○学区内にある瀬月内ダム周辺の清掃を行った。【来内小学校】

実施日：平成30年4月26日、11月2日

参加者：児童10名、PTA8名、地区民1名、職員7名
児童10名、PTA8名、職員7名

場所：来内学区、瀬月内ダム周辺

成果：燃えるごみ、燃えないごみを回収し、瀬月内ダム周辺のごみがなくなった。また、児童の環境に対する意識啓発も図られた。

○全校クリーン作戦（ごみ拾い、石拾い）【大川目小学校】

実施日：平成30年5月9日

参加者：児童90名、職員13名

場所：校地内及び学校周辺の通学路

成果：クリーン作戦に対しての意識が年々高まっており登校時に自主的にごみを拾ってくる児童もいる。

○ボランティア活動（ごみ拾い、石拾い、落ち葉拾い、草取り）【大川目小学校】

実施日：平成30年7月～11月

参加者：全校児童、職員

場所：校地内及び校門付近

成果：ボランティア委員会の規格で、奉仕活動を必要に応じて行っている。積極的に参加しており、本校の定番活動となっている。

○子供会の夏季休業中の取り組みとして、地区子ども会ごとにゴミ拾いを行っている。【大川目小学校】

○縦割り班で、通学路や地域のごみ拾いを実施した。【久喜小学校】

実施日：平成30年5月1日、平成30年11月5日

参加者：児童30名、職員9名

成果：自分たちにできる地域の環境美化を目指して取り組んでいる活動である。平成30年度も、他市町村や県外の方にもきれいな地域をアピールしようと、ごみ拾いを実施した。縦割り班ごとに燃えるごみと燃えないごみを分別しながら集め、事後の振り返りを通して、児童の環境に対する意識啓発が図られた。

○海づくり少年団活動として、浜清掃を実施した。【久喜小学校】

実施日：平成30年6月15日

参加者：児童30名、職員9名

成 果：自分たちにできる地域の環境美化を目指して取り組んでいる活動である。平成 30 年度も、他市町村や県外の方にもきれいな地域をアピールしようと、ごみ拾いを実施した。縦割り班ごとに燃えるごみと燃えないごみを分別しながら集め、事後の振り返りを通して、児童の環境に対する意識啓発が図られた。

○530 運動を実施し、学校周辺のごみ拾いを全校児童で実施した。【平山小学校】

実 施 日：平成 30 年 5 月 31 日

参 加 者：児童 60 名、職員 14 名

場 所：学校周辺等

成 果：たばこの吸い殻、お菓子の袋等が多かった。児童は一生懸命ごみ拾いをし、環境美化に努めた。

○ごみゼロ運動として、登校時に通学路のごみ拾いを全校児童で実施した。【長内小学校】

実 施 日：平成 30 年 5 月～10 月の末日（長期休業期間を除く）

参 加 者：児童 255 名

場 所：通学路等

成 果：通学路及びその周辺の美化、環境に対する児童の意識啓発につながった。

○学校周辺のごみ拾いを児童会活動（ボランティア委員会）で実施した。【長内小学校】

実 施 日：委員会活動日（計 2 回）

参 加 者：児童 12 名、職員 2 名

場 所：学校周辺等

成 果：学校周辺の美化、環境に対する児童の意識啓発につながった。

○年 4 回のクリーンの日を設定し学校の周りや地域のごみ拾いを行った。【小袖小学校】

実 施 日：平成 30 年 6 月 1 日、7 月 2 日、9 月 3 日、11 月 1 日

参 加 者：児童 27 名、職員 10 名

成 果：学校や地区のごみ拾いを行うことできれいな環境になるようにごみを捨てないようにしようという意識が高まった。

○河川敷のごみ拾いを実施した。【小久慈小学校】

参 加 者：児童 89 名

場 所：学校周辺及び用水路

成 果：地域の清掃活動を通じて、環境保全について学んだ。

○環境美化活動（校内や学校周辺のごみ拾い）を行った。【侍浜小学校】

○ごみ拾いを実施した。【霜畑小学校】

実 施 日：平成 30 年 5 月 30 日

○山形小学校おやじの会として、国道 281 号の草刈りをした。【山形小学校】

実 施 日：平成 30 年 7 月 21 日

参 加 者：山形小学校おやじの会・PTA61 名、職員 3 名

場 所：国道 281 号（滝ノ沢付近）

成 果：国道の環境整備や空き缶等のごみの処理を行うことができた。

○通学路のごみ拾いを実施した。【久慈小学校】

実 施 日：平成 30 年 5 月 30 日

参 加 者：児童 622 名

成 果：久慈小通学路をごみ袋持参のうえ、登校。約 10 kgのごみを集めることができた。思った以上に通学路にはごみが落ちていない状況であった。日頃の清掃活動によりマナーが守られてきている。

○全校児童による通学路清掃を実施した。【夏井小学校】

実 施 日：平成 30 年 4 月 25 日、8 月 29 日

参 加 者：児童 25 名

場 所：通学路

成 果：通学路にはあまりごみがなかったが、夏井川の河川敷にはごみが落ちていることを知り、地域の人へ、ごみを捨てないよう呼びかける活動ができた。

○児童会が中心となり、全校児童によるクリーン作戦を実施した。【宇部小学校】

実 施 日：平成 30 年 7 月 3 日

参 加 者：児童 68 名

成 果：普段利用している施設や、地域の公共施設の清掃を行うことによって、日ごろの感謝を表すとともに、みんなが使うものや公共施設を大切にしようとする態度を培うことができた。また、地域の環境にも関心を持つ機会とすることができた。

○530 運動として、全校で三崎地区のごみ拾いを実施した。【三崎中学校】

実 施 日：平成 30 年 6 月 3 日

参 加 者：生徒 36 名、職員 8 名

場 所：学校周辺、三崎、小袖、小袖沢方面

成 果：全校生徒が午後、三崎地区、小袖、小袖沢地区にバスで移動し、ごみ拾いを行った。ごみゼロ運動に合わせて実施し、生徒の環境に対する意識啓発も図られた。

○530 運動を実施した。【侍浜中学校】

実 施 日：平成 30 年 5 月 25 日

参 加 者：生徒 48 名、職員 12 名、地域の方々 9 名

場 所：学校周辺の道路沿い

成 果：燃えるごみ、燃えないごみを回収し学校周辺道路沿いのごみがなくなった。また、生徒の環境に対する意識啓発も図られた。

○530 運動にあわせ通学路のごみ拾いを実施した。【久慈中学校】

実 施 日：平成 30 年 5 月 28 日～6 月 1 日

○河川敷のごみ拾いを実施した。【久慈中学校】

実 施 日：平成 30 年 7 月 30 日

○地区ごとにごみ拾いや草取りなどの奉仕活動に取り組んだ。【夏井中学校】

実 施 日：平成 30 年 7 月 25 日～7 月 26 日

参 加 者：生徒 53 名、保護者 12 名

場 所：夏井保育園周辺、夏井中学校周辺、半崎集会所周辺、夏井中学校校庭

○環境美化奉仕作業を実施した。【宇部中学校】

実 施 日：平成 30 年 5 月 30 日

参 加 者：全校生徒

成 果：通学路及び、陸中宇部駅に至る路上のごみ拾いをしながら移動し、陸中宇部駅周辺と
駅舎及びホームの清掃を行った。三陸鉄道職員の方から感謝の言葉をいただいた。事
故や怪我無く実施することができた。



久喜小学校 通学路清掃



宇部中学校 環境美化奉仕活動

11 地球環境の保全

〔環境指標〕

指標項目	目標	現状
区域の温室効果ガス排出量	2030年度 18.52万t-CO ₂	2017年度 28.09万t-CO ₂
行政の事務や事業から排出される温室効果ガス排出量	2030年度 7,029 t-CO ₂ 以下	2018年度 9,546 t-CO ₂
住宅用太陽光発電システムの新規導入件数	年間 15 件以上	平成 30 年度 5 件
市内における空間放射線量率	1 μSv/h 未満	1 μSv/h 未満

地球温暖化実行計画に基づき、温室効果ガスの排出削減行動を推進します

- 庁舎内における昼休み時間の節電を実施した。【財政課】
- 暖房の設定温度を下げ、A重油の使用量を抑制した。【財政課】
- 積極的なグリーン購入法適合物品の購入をした。【財政課】

公用車の低公害化推進します

- 低公害車を公用車として導入した。【財政課】

クールビズやウォームビズの実施、また、ノー残業デーを設定し、エネルギー消費量の削減を行います。

- 庁内でクールビズやウォームビズを実施した。【総務課】
- ノー残業デーを実施した。【総務課】
- ライトダウンキャンペーンにより節電の普及啓発を実施した。【生活環境課】

酸性雨のモニタリングを継続し、その情報を公表します。

- 大気汚染実態調査の一環として、酸性雨（雪）調査を実施した。【生活環境課】

～小学校・中学校の取組状況～

- 地区の教育振興運動とタイアップし、家庭学習の家庭学習強化週間の時は、テレビを消してじっくり取り組めるように家庭に協力を依頼した。【久喜小学校】
成 果：テレビを消して家庭学習に取り組もうという活動が徐々に浸透してきた。
- 学級の係の仕事として「電気係」を設けるなどし、こまめな消灯に取り組んだ。【久喜小学校】
成 果：教室移動時は、学級の電気係を中心に互いに声を掛け合って、こまめに電気を消す姿が見られた。
- ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【久喜小学校】
実 施 日：平成 30 年 6 月 21 日、7 月 7 日
参 加 者：1 回目 6 名、2 回目 11 名

○各家庭での消灯【平山小学校】

実施日：平成30年6月21日、7月7日

参加者：児童60名

成果：1回目は34名、2回目は35名が取り組むことができた。

○ライトダウンキャンペーンへの参加協力【長内小学校】

実施日：平成30年6月21日、7月7日

参加者：児童及び保護者

成果：全国的な取り組みへの協力を周知することにより、環境に配慮した行動への意識啓発につながった。

○ノー残業デーの設定【長内小学校】

実施日：毎月第4金曜日

参加者：教職員22名

成果：ノー残業デーを、地球温暖化対策の観点から取り組むことで、省エネルギーへの理解と、環境に配慮した行動を推進することができた。

○ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【侍浜小学校】

実施日：平成30年6月21日、7月7日

参加者：全児童

○ライトダウンキャンペーンへの家庭の協力を呼び掛けた。【山形小学校】

実施日：平成30年6月21日、7月7日

参加者：PTA39名

成果：呼びかけにより、およそ2-3の家庭がライトダウンに取り組むことができた。

○ライトダウンキャンペーンへの協力。【久慈小学校】

実施日：平成30年6月21日、7月7日

参加者：1回目192名、2回目190名

成果：参加率が約3割という状況であり、思った以上に浸透していないことが判明した。

○ライトダウンキャンペーンへの協力。【宇部小学校】

実施日：平成30年6月21日、7月7日

参加者：児童68名

成果：家庭でできる身近な節電等の省エネルギー活動の取り組みを通して地球温暖化防止に対する意識を高めることができた。

○ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【霜畑小学校】

実施日：平成30年6月21日、7月7日

参加者：1回目10名、2回目9名

○ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【大川目小学校】

実施日：平成30年6月21日、7月7日

参加者：1回目55名、2回目57名

○ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【久慈湊小学校】

実施日：平成30年6月21日、7月7日

参加者：1回目29名、2回目20名

-
- ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【長内小学校】
実施日：平成30年6月21日、7月7日
参加者：1回目33名、2回目36名
 - ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【来内小学校】
実施日：平成30年6月21日、7月7日
参加者：1回目8名、2回目7名
 - ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【小袖小学校】
実施日：平成30年6月21日、7月7日
参加者：1回目23名、2回目24名
 - ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【夏井小学校】
実施日：平成30年6月21日、7月7日
参加者：1回目19名、2回目18名
 - ライトダウンキャンペーンへの協力。【山形中学校】
実施日：平成30年6月21日、7月7日
参加者：生徒54名及び各家庭
成果：本活動を通して、身近なところから温暖化防止への取り組みを学び、関心、理解を深めた。
 - ライトダウンキャンペーンへの呼びかけをした。【久慈中学校】
実施日：平成30年6月21日、7月7日
参加者：全校生徒
 - ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【三崎中学校】
実施日：平成30年6月21日、7月7日
参加者：1回目15名、2回目25名
 - ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【長内中学校】
実施日：平成30年6月21日、7月7日
参加者：1回目47名、2回目39名
 - ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【夏井中学校】
実施日：平成30年6月21日、7月7日
参加者：1回目21名、2回目10名
 - ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【侍浜中学校】
実施日：平成30年6月21日、7月7日
参加者：1回目2名、2回目2名
 - ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【宇部中学校】
実施日：平成30年6月21日、7月7日
参加者：1回目10名、2回目9名
 - ライトダウンキャンペーンに取り組んだ。【大川目中学校】
実施日：7月7日
参加者：生徒22名

12 環境保全活動を担う人材の育成

〔環境指標〕

指 標 項 目	目 標	現 状
環境報告書の作成・公表	実施	平成30年度 実施
広報の環境関連記事の掲載回数	24回/24回	平成30年度 広報掲載回数14回/24回
市民が参加しやすい自然観察会、環境体験学習及び環境保全活動の機械の創出	実施	平成30年度 実施
まちづくり直送便事業、琥珀のまち生涯学習事業における環境関連の勉強会の実施	実施	平成30年度 実施

環境に関する年次報告書を作成し、公表します

○環境に関する年次報告書「久慈市の環境」を作成し公表した。【生活環境課】

環境に関する情報の発信、提供を積極的に行います

○くじ広報や市HPに環境情報を掲載した。【生活環境課】

自然体験活動や環境保全活動を開催します

○宇部川の会が主体となり、宇部川の清流化と小学生の情操教育として、宇部川にヤマメの放流を行った。【宇部市民センター】

実 施 日：平成30年5月31日

参 加 者：児童9名、教職員等4名、宇部川の会6名

場 所：宇部川

成 果：身近な川の環境について関心を持つことができ、きれいな川を維持するために必要なことを考えることができた。

自然観察会や林業体験イベントを支援し、林業とのふれあいの場を創設します

○林業体験を実施した。【観光交流課】

実 施 日：平成30年5月～8月

参 加 者：他自治体中学生259名

場 所：山形町

成 果：自然や森の成り立ち、森の果たす役目などを学ぶとともに、森づくりの大変さや除間伐の必要性について理解を深める場を提供することができた。

漁師体験などの漁業体験イベントを支援し、漁業とのふれあいの場を創設します

○漁師体験を実施した。

実 施 日：平成30年5月～7月

参 加 者：他自治体中学生等163名

場 所：侍浜町

成 果：漁業従事者と会話したり、海から網を上げたり、網から魚を外すなど、実際に体験することで、漁業の大変さや必要性について、理解を深める場を提供することができた。

学校教育における体験学習などの支援を行います

○自然体験プログラムを実施した。【観光交流課】

○漁師体験を実施した。

実 施 日：平成 30 年 5 月～10 月

参 加 者：児童生徒 1,086 名（他自治体児童生徒含）

場 所：山形町、侍浜町

成 果：市内外多くの児童生徒に自然体験プログラムを体験してもらい、久慈市の魅力を体感してもらえた。

～小学校・中学校の取組状況～

○久喜の生活を支えている漁業について理解し、興味・関心を高めるための漁業体験等の活動を行った。【久喜小学校】

実 施 日：磯観察：平成 30 年 6 月 15 日

漁業体験：平成 30 年 7 月 21 日

鮭イクラ・新巻きづくり体験：平成 30 年 11 月 13 日 21 日

参 加 者：児童 17 名、職員 7 名、保護者 17 名、関係機関約 20 名

場 所：久喜漁港、久慈市漁協、久喜小学校

成 果：県北広域振興局水産部、久慈市林業水産課、久慈市漁協、そして、地域の精算部、屋形低地、小型船研究グループ、漁協女性部等たくさんの関係機関の方々からご支援をいただき、貴重な漁業体験を行った。地域の漁業への思いや生き方、海を守ることの大切さを学ぶことができた。

○久喜浜海岸清掃を行い、不燃ごみ拾いを全校生徒で実施した。【三崎中学校】

実 施 日：平成 30 年 8 月 1 日

参 加 者：生徒 36 名、職員 8 名

場 所：久喜浜周辺

成 果：海浜に打ち寄せられた不燃ごみ（プラスチック、発泡スチロール等）を集め処理した。生徒は、この取り組みにより学区内の海浜環境の改善・維持につながることを学習し、環境保全の意識啓発が図られた。

○環境整備作業を実施した。【山形中学校】

実 施 日：平成 30 年 9 月 1 日

参 加 者：全校生徒、保護者、教職員

場 所：山形中学校（グラウンド、駐車場、校舎周辺）

成 果：全校生徒、保護者、教職員とともに校地内の整備を行い、環境保全に努めた。



観光交流課 林業体験



久喜小学校 漁業体験

